

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働き私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。かける団体です。

## 1. 平成 29 年度 定時総会について

平成 29 年度 定時総会を下記要領で開催しましたのでご報告します。

先日イベントでお世話になった三津寺様にもご参加頂きました。今後ともよろしく願い致します。

- ◆日時：平成 29 年 6 月 26 日（月）16：00～18：00
- ◆場所：難波御堂筋ビルディング 難波御堂筋ホール
- ◆当日出席者（正会員）10 名  
委任状提出者：4 名                      正会員数 15 名の過半数の出席で成立



### (1) 第 1 号議案:平成 28 年度 事業報告及び決算報告

・平成 28 年度に実施した事業内容を報告しました。

- ①モデル整備区間の取り組み:千日前通以南モデル整備区間協議会による取り組み、モデル整備区間の供用開始、オープニングセレモニーの開催
- ②講演会の開催、ビジョンの検討:嘉名顧問による勉強会、建築家隈研吾氏を招いたシンポジウムの開催
- ③定例会の開催:毎月定例会の開催、ニュースの発行、懇親会の開催（3回）
- ④対外的な発信:会のホームページ(Facebook)の運用、ホームページを用いた取り組み紹介 等



・平成 28 年度の決算報告が行われ、会計監査である株平川商事様より、監査の結果、平成 28 年度事業計画に基づき適正に執行され、会計処理が適正に行われた旨が報告されました。

・本議案を諮ったところ、一同賛成により承認されました。

### (2) 第 2 号議案:平成 29 年度 事業計画及び収支予算(案)

・平成 29 年度の事業計画・収支予算案について、事務局より下記の事項が提案されました。

#### ① 80 周年記念事業とあわせた「将来像(ビジョン)」の発信



・80 周年記念事業への参画、協賛  
・モデル区間を舞台とした事業の実施（左）  
・ミナミ御堂筋の将来ビジョンの検討

#### ② 沿道の「イベント・プロモーション」



・御堂筋イルミネーションへの協力と、沿道ビルライトアップ等の実施  
・ミニミー斉清掃への参画  
・沿道のイベントや会員のイベントとの連携

#### ③「会員拡大」

- ・会員向けの情報発信
- ・会員、顧問への勧誘
- ・会員拡大につながる事業の検討（例：沿道ビルライトアップへの早期呼びかけ 等）

#### ④ 定例会の開催

- ・毎月 1 回の定例会の開催
- ・会員の懇親の場の開催（年 3 回）
- ・記録（ニュース）発行
- ・会員以外へのニュース等の定期配信

・本議案を諮ったところ、一同賛成により承認されました。

## 2. 御堂筋 80 周年事業に向けて

今年度予定されている御堂筋 80 周年記念事業に向けて、本会の取り組みや、将来のミナミ御堂筋のあり方について、会員で意見交換を行いました。将来的に歩行者が中心で自転車のない通りをめざすべきであり、80 周年記念事業のワークショップや社会実験に反映していくことを確認しました。

### (1) ミナミ御堂筋の将来像について

- ◎自転車は将来的に通らないストリートをめざすべきではないか。歩行者との分離を明確にすべき。
- ◎国際化、インバウンドのこれらを見据えた上で、広場も含め大阪の集客上重要な空間となる。見た目にも名所となる、フォトジェニックな空間づくりが肝要。
- ◎自転車交通は極端に減っているが、取り組みを継続しないとこれ以上減っていかない。かつ、減った後の空間を上手く使っていないと元の木阿弥である。公正で適切に使えるルールも提案していく必要。
- ◎必要以上に現在の自転車通行空間が広いと感じる。滞留や空間の活用を促す上では、将来的にはなくても良いのではないか。その際、周辺との連携も重要となる。
- ◎根本的な解決策は自転車の乗り入れ禁止。御堂筋イルミの時期に社会実験で世に問うには良い機会。
- ◎ここ 2～3 年で自転車は減っている。ただ夜は不法駐輪・放置自転車が増加している。上手く取り組んでいる例（銀座など）のやり方も学んでいってはどうか。
- ◎自転車道が整備されても、守られるのか心配である。一方、まちや風景を見る楽しみを訴えていかねばならない。文化のまちミナミとしては、チケットなどを案内する機能も欲しい。
- ◎インバウンドの観光客が多い中で、自転車が優先で歩行者が遠慮するような姿が果たして世界から観光客を受け入れるメインストリートとして相応しいのか。
- ◎自転車は将来的に御堂筋にはなくても良い。沿道にカフェがあり、人であふれ、自転車はいない空間をめざすべきではないか。若者目線で SNS など発信できる通りに。また、オーナー側もカフェを所有していることが価値となるような姿を目指したい。
- ◎この通りを好きで来ている人がどのくらいいるのか。現状はただの道路だが、シャンゼリゼはブランドとして確立され、ステータス、空気感がある。来たい人を想像し、道を創造することを考えなければ。
- ◎自転車は NG としたい。人の速度の目標を設定し、それに合わせた歩行、ゆっくり歩ける仕掛けをつくるを考えてはどうか。車いすの方が傍らに腰掛けて写真を撮る、そういった行動を誘発できる場所に。

### (2) 秋の社会実験等の事業に向けて

- ◎現状の体制では実施できないのでは、分科会を組成するなど、体制整備が必要。
- ◎使える場所でいろんなコンテンツを作ることは賛成。通りの利用形態は時間帯によって違う。大きなものを考えつつ、邪魔にならない程度で自転車の通行も試行する形か。また、面するビルの関係性や調整、ルール等も考えなければならない。誰かが社会実験の名の下に考え、合意を図っていかねばならない。
- ◎歩道空間を拡張して自転車を遠慮してもらう実験なら、啓発などをきちんとしていく必要がある。
- ◎大阪市で、ワークショップの一環で座談会を開催することとしている。市のシナリオ通りの議論だけでなく、20 年先の将来も見据え、枠を外した議論をしていきたい。自転車についても今回を機にしっかり議論しませんか、と投げかけていくべき。

#### <定時総会参加者>

【正会員】高橋（勝）（株式会社スポーツタカハシ）、藤本（稔・有吾）（株式会社播重）、眞鍋（平川商事株式会社）、中西（株式会社大丸松坂屋百貨店）、高土（佳）（都島自動車株式会社）、池田（有限会社泉屋）、吉田（株式会社ベルコ）、梅田（光明興業株式会社）、奥内・井上（株式会社オクウチサービス）、

【賛助会員】井原（株式会社アイ・プランニング）、一枝（イチエイ商事株式会社）

【オブザーバー】加賀（七宝山 大福院 三津寺）、和田・門重（ミナミまち育てネットワーク）

【事務局】中塚・絹原・羽田（株式会社地域計画建築研究所（アルパック））

## 次回定例会のお知らせ

平成 29 年 7 月 31 日（月）16：00～ 難波御堂筋ホールにて開催

発行：ミナミ御堂筋の会 URL：<https://www.facebook.com/minami.midosuji>

問い合わせ先：ミナミ御堂筋の会事務局

（株式会社地域計画建築研究所大阪事務所 内【担当：絹原・羽田】）

〒541-0042 大阪市中央区今橋 3-1-7 日本生命今橋ビル 10F

TEL：06-6205-3600 FAX：06-6205-3601 E-mail：[minami-midosuji@arpak.co.jp](mailto:minami-midosuji@arpak.co.jp)